

第61回日本SF大会

Sci-con2023

プロGRESSレポート Vol.2

表紙 会場（浦和コミュニティセンター ホワイエ）	1
大会会場への道 広域地図	2
公共交通機関利用の場合	3
マイカーの場合	3
浦和駅周辺地図	3
ゲスト・メッセージ	4
企画紹介（第1回）	8

発行 第58回日本SF大会 実行委員会
〒339-0072
埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-2-1
2023年6月21日
編集 Sci-con2023 広報局 神北恵太

大会会場 浦和コミュニティセンター ホワイエ 当日はここに本部を置く予定

高速道路利用の場合



大会会場への道

公共交通機関で浦和へ

公共交通機関をお使いの場合は、**浦和駅**を目指して下さい。羽田・成田経由の航空便を含めて、南側（東京方面）からの場合は、JR 京浜東北線、東北線・高崎線（湘南新宿ライン・東京上野ライン）でお越しください。北側からの場合は東北・青森・上越・北陸等、JR東日本系の全ての新幹線が停車する大宮駅から、JR 京浜東北線、東北線・高崎線（湘南新宿ライン・東京上野ライン）でお越しください。

長距離バスの多くは都内着と思いますが、大宮・浦和着のものもかなりあります。いずれにせよ、浦和駅を目指してください。

浦和駅の東口、駅からバス・タクシー乗り場のロータリーを挟んだところに、大会会場「ストリームビル」があります。「PARCO」という看板のかかった大きなビルです。

マイカーで浦和へ

マイカーで高速経由の場合、お越しいただく方面により、コースが大きく変わります。

東北道経由の場合は、東北道浦和ICで降りて、並行して走る越谷街道もしくは越谷バイパス（どちらも国道463号線）を西進し、浦和駅方面へとお越しください。

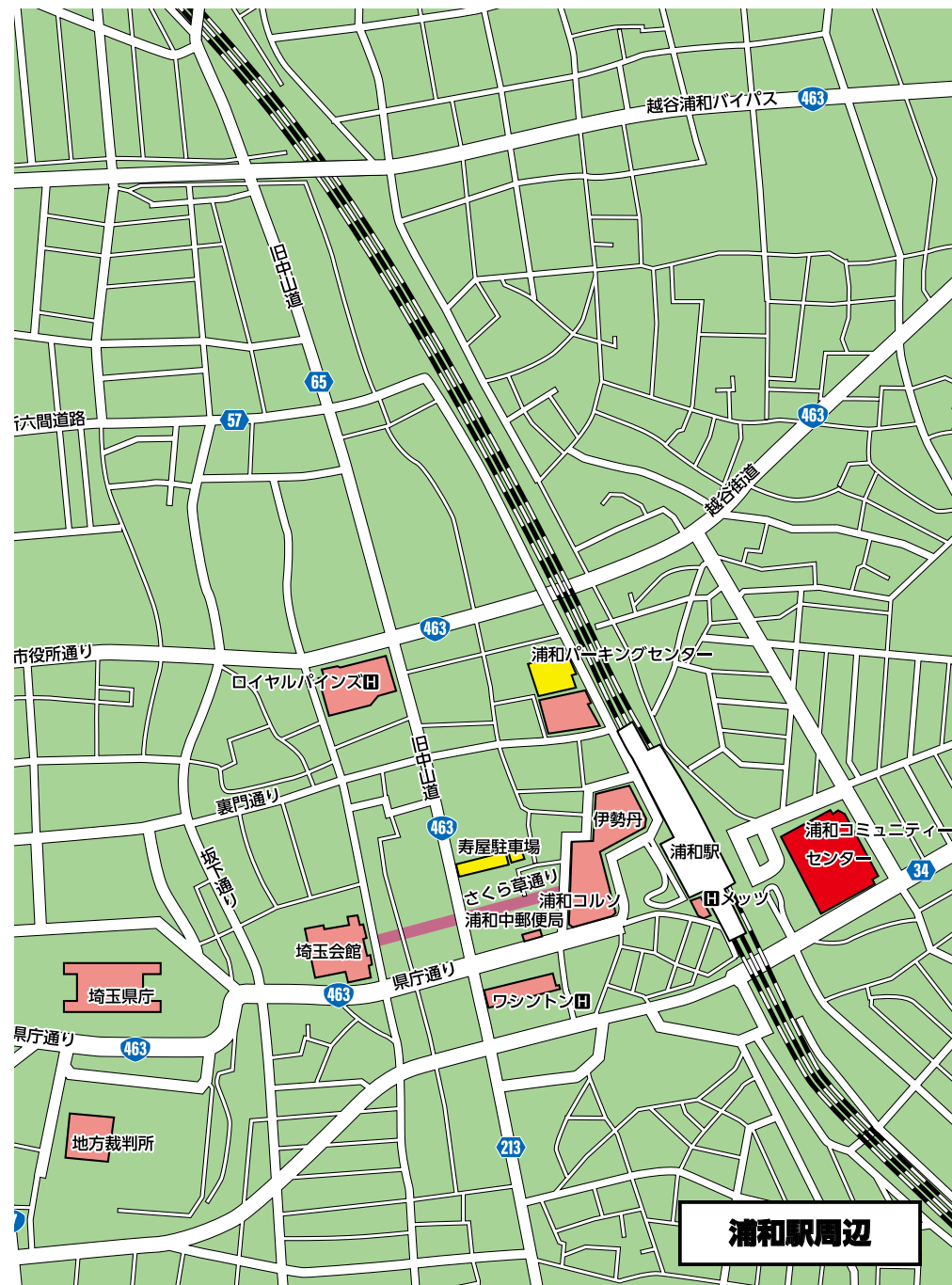
関越道経由の場合は、所沢ICで降りて、浦和所沢バイパス（国道254号線）を東進して、もしくは関越道をそのまま南下して大泉JCTから外環道を東進し、北戸田料金所で降りて、旧中山道を通して浦和駅方面へとお越しください。

ちなみに、西の方から東名・中央道経由で関東に出られる方は、そのまま首都高に入って下さい。

東名でお越しの方は、そのまま進んで東京ICから首都高3号渋谷線に入り、大橋JCTから首都高中央環状線で北上し、6号池袋線に入ってください。

中央道でお越しの方は、そのまま進んで高井戸ICから首都高4号新宿線に入り、西新宿JCTから首都高中央環状線で北上し、6号池袋線に入ってください。

都内方面からの場合は、外環道の北戸田ICか、首都高5号大宮線の浦和ICから埼大通り（国道463号線）を東進して北浦和駅の西側から南下し、浦和中心部を目指して下さい。

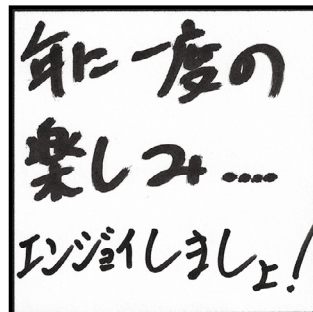


浦和駅周辺

ゲスト・メッセージご紹介



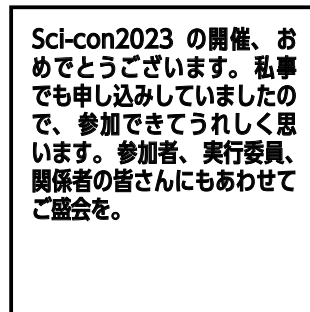
赤井 孝美
[あかい たかみ]



アサウラ
[あさうら]



浅尾 典彦 (夢人塔)
[あさお のりひこ]



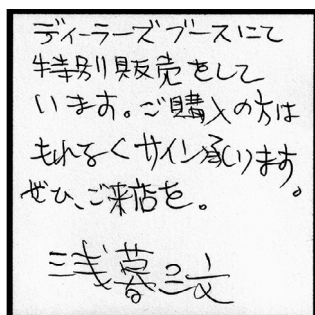
上田 明
[うえだ あきら]



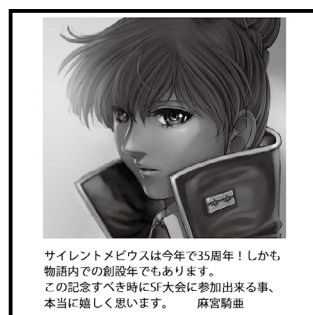
超大型ゲスト「うちのシロ」
[うちのしろ]



海野 螢
[うんの ほたる]



浅暮 三文
[あさぐれ みつふみ]



麻宮 騎亜
[あさみや きあ]



芦辺 拓
[あしべ たく]



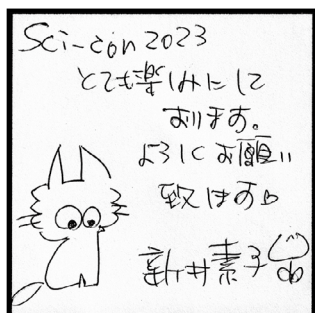
MW岩井
[えむだぶりゅーいわい]



大倉 貴之
[おおくら たかゆき]



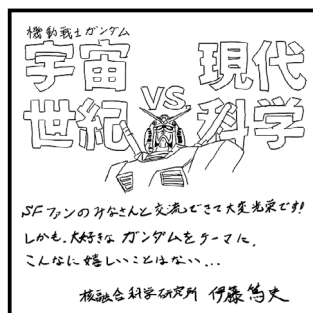
大澤 博隆
[おおさわ ひろたか]



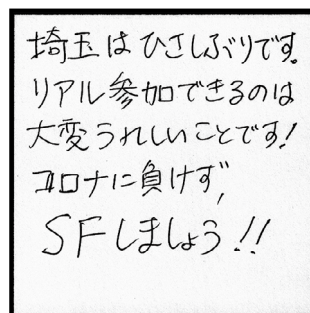
新井 素子
[あらい もとこ]



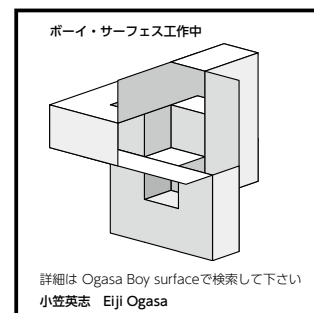
石井 龍太
[いしい りょうた]



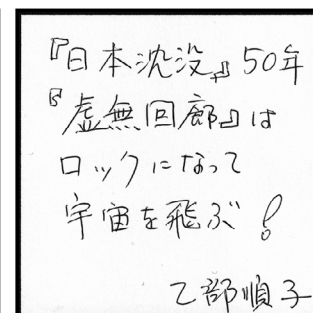
伊藤 篤史
[いとう あつし]



大野 万紀
[おおの まき]



小笠 英志
[おがさ えいじ]



乙部 順子
[おとべ じゅんこ]

図書館でのゲーム企画（アナログ・デジタル問わず）を、全国の図書館でおこなっている、格闘系司書と申します。
図書館でのVRやVtuber活動などもしている、少し変わった現役の司書です。
SF大会は初めての参加で緊張していますが、歴史ある大会に参加できるのを楽しみにしています。

格闘系司書
[かくとうけいししよ]

コロナ禍で、オンラインでの企画が当たり前になったとき、ああ、一人一台のパソコンで仕事をするのが普通になった時代と同じレベルの変化が起きているんだなあと思いましたが、このところのAIの進化や宇宙開発のニュースを見聞きしていると、いやいや、産業革命時代と同じくらいの大変化が今、目の前で起きているんだ、と実感します。
小学校5年生くらいでノストラダムスの大予言にはまったため、長い間、時代は遅くなっていくように感じていましたが、二三年前に、一大決心をして、前向きとして「これから時代がよくなっていく」と考えることに決めました。そうでないともメンタルがもたないからです。
ノストラダムスよりもっと前、ドはまりしていたのは、戦後片側のブックボックスに置いてあった児童向けのSFシリーズでした。「タイムマシン」や「火星のプリンセス」、それまで読んでいた児童文学とは、まったく違う世界にワクワクドキドキしました。あの頃は、目の前が大きくひらけていく感じが、子どもの頃の気分を取り戻して、まずは、このSF大会を楽しんで、かつてSF小説で読んで来ただけの日常を生き生きと過ごしたいです。
一緒に楽しみましょう！

粕谷 知世
[かすや ちせ]



笠田 電太
[かさだ りゅうた]

後世にゲームの歴史をきちんと残すにはどうするべきか？
小生が出演する企画を通じて、ぜひ多くの皆さんにお考えいただき、同時にご意見などもいただければと思います！

崎原 盛之
[しぎはら もりひろ]

アーマード・コアが復活するくらいなのだから、久々にSF大会にも参加せねば。今の時代とは違ふとはいえ、パソコン通信が縁でデビューした最初の世代としては、今大会はとて楽しめてす。

篠崎 砂美

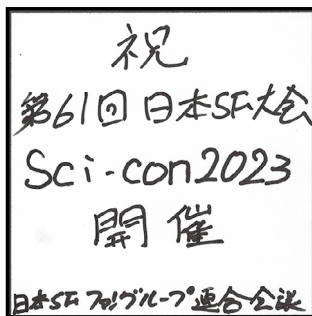
篠崎 砂美
[しのさき さみ]

今年は正月早々父が亡くなったりと波乱の幕開けで、大会の申込をすっかり忘れていました。
楽しみにしております。よろしく願いいたします。

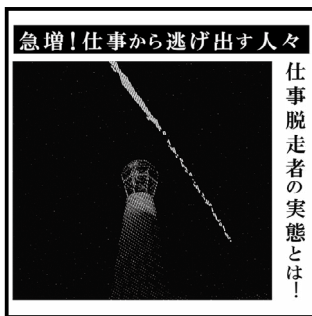
嶋田 洋一
[しまだ よういち]



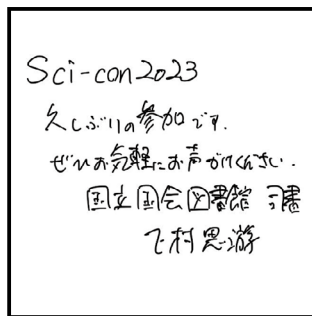
勝山 海百合
[かつやま うみゆり]



くま
[くま]



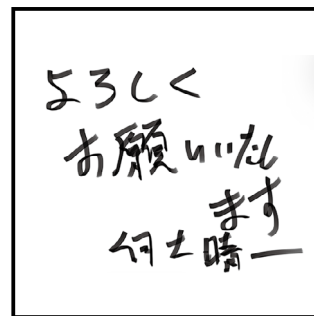
近藤 銀河
[こんどう ぎんが]



下村 恩游
[しもむら しゅう]



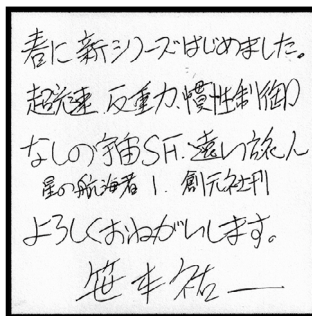
じゅりあ (じゅりこにゃん)
[じゅりあ/じゅりこにゃん]



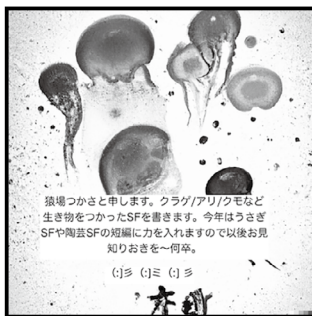
白土 晴一
[しらと せいいち]



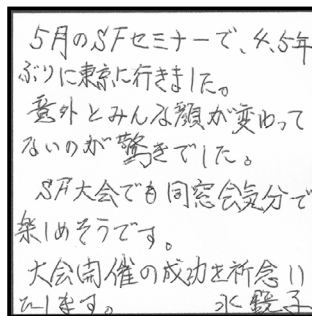
笹原 千波
[ささはら ちなみ]



笹本 祐一
[ささもと ゆういち]



猿場 つかさ
[さるば つかさ]



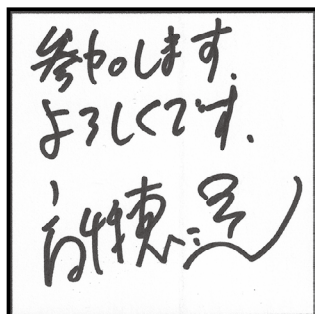
水鏡子
[すいきょうし]



鈴木 一也
[すずき かずなり]

この4月から日本SF作家クラブに入会させていただきました。SF大会も初めての参加となります。同好の士ばかりの夢のような二日間を楽しませていただきます。

関元 聡
[せきもと さとし]



高千穂 遙
〔たかちほ はるか〕



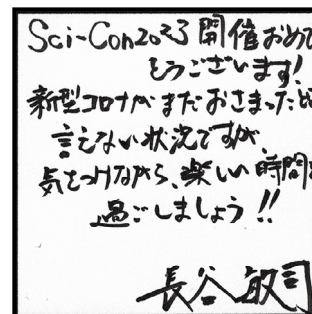
立川 わんだ
〔たてかわ わんだ〕



環望
〔たまきのぞむ〕



バーチしょうぐん
〔ばーちしょうぐん〕



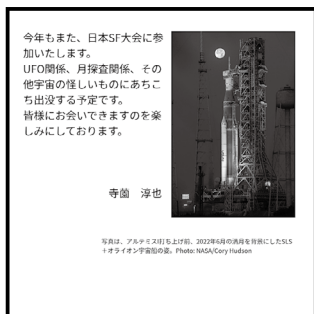
長谷 敏司
〔はせ さとし〕



長谷川 裕一
〔はせがわ ゆういち〕

2017年に「コルヌトピア」(早川書房)でデビューした津久井五月と申します。SF大会には初めて参加させていただきます。埼玉県在住なので、身近な場所でSF関連イベントが開かれるのが嬉しく、ありがたいです。当日を楽しみにしております!

津久井 五月
〔つくい いつき〕



寺園 淳也
〔てらぞの じゅんや〕



東京ニトロ
〔とうきょうにとろ〕

調理を担当予定です。セミヤサコワームを使った、珍しいシメネタ球根料理をお楽しみ下さい! 昆虫食者及サコワ 植口 素子

植口 素子
〔ひぐち もとこ〕



ヒゲキタ
〔ひげきた〕



久永 実木彦
〔ひさなが みきひこ〕



永野 のりこ
〔ながの のりこ〕

映画だけじゃない! 'インドSF' もよろしく 難波美和子

難波 美和子
〔なんば みわこ〕



人間六度
〔にんげんろくど〕

今年は「復活の年」になることを期待しております。 平田真夫

平田 真夫
〔ひらた まさお〕

伝統ある日本SF大会に参加することができ、大変光栄です。日本SFの中心というべき場で、微力ながら何かの科学変化の一助になりたいと意気込んでいます。 広海 智

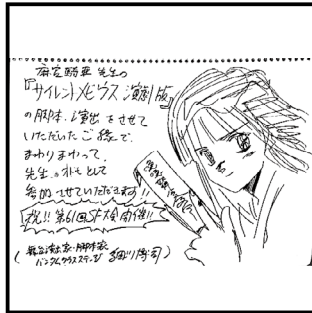
広海 智
〔ひろみ とも〕

祝・Sci-con 2023 ひろしがしのSF大会参加です。楽しんでます。 日本ファンタジーノベル大賞受賞者アキラロジ「F3」が 出てはす。 藤田雅矢

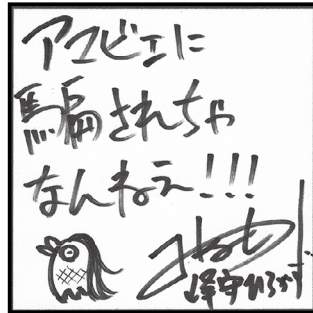
藤田 雅矢
〔ふじた まさや〕



星野 勝之
〔ほしの かつゆき〕



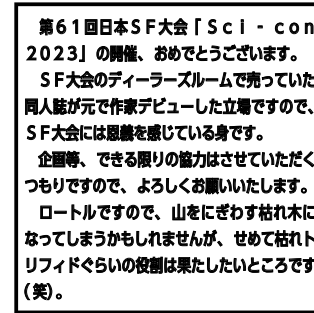
細川 博司
〔ほそかわ ひろし〕



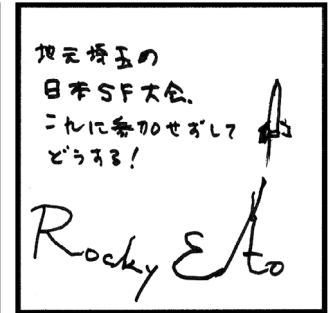
峰守 ひろかず
〔みねもり ひろかず〕



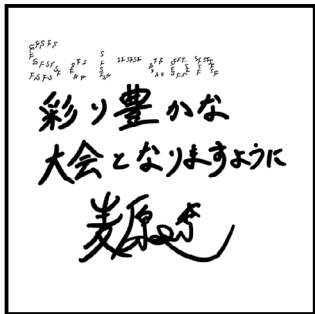
YOUCHAN
〔ゆーちゃん〕



横山 信義
〔よこやま のぶよし〕



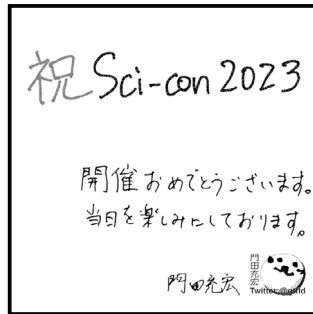
ROCKY 江藤
〔ろっきー えとう〕



麦原 遠
〔むぎはら はるか〕



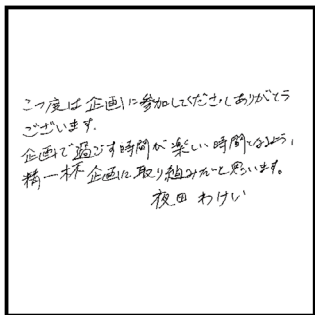
むらかわみちお
〔むらかわみちお〕



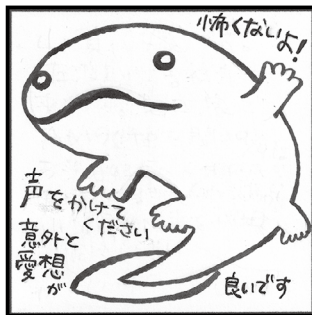
門田 充宏
〔もんでん みつひろ〕



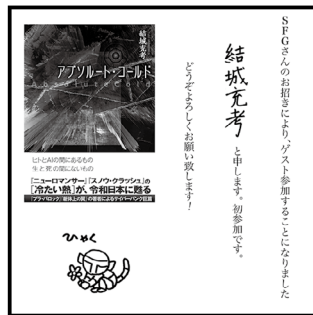
ゲスト交渉は現在も進行中です。
ここに掲載させていただいたのは、ゲストの皆様から
実行委員会にお寄せいただいた、ゲスト・メッセージです。
もちろん、まだ交渉中の方も多数居られますので、これ
は6月12日現在のデータです。



夜田 わけい
〔やだ わけい〕



山賀 博之
〔やまが ひろゆき〕



結城 充孝
〔ゆうき みつたか〕

企画紹介

本大会は、2日の期間中に、コマ企画・終日企画等、合わせて100本前後の企画を用意しております。今回は、調整が済み、公表可能になった企画をご紹介します。

「視覚映像文化とSF」の部屋

白鳥克弥

パネルセッション形式で「視覚映像文化とSF」について批評的に展望します。10回目となる今回のテーマは「ゲーム的リアリティ」。SF映像文化はゲーム的リアリティをどのように扱ってきたのか。ゲームメディアの発展史とSF的想像力の交点を探ります。

アマビエに騙されちゃなんねえ～二大星雲賞 さいたま決戦

富永浩史、峰守ひろかず、久正人

ネットの海から蘇り、瞬く間に広まったあいつ。厚生労働省に公認され、第52回星雲賞自由部門までかささらったあいつ……そんなヤツの真実とは!? 妖怪小説の旗手・峰守ひろかず氏と、こちらも星雲賞・久正人氏を招いてその実態に切り込みます。我々はヤツを「SF」できるのか? 「SF 古代生物の部屋」スピンオフ企画。

新井素子さん作家生活50周年記念パーティ準備集会

新井素子さんは、2027年に作家生活50周年を迎えることになります。40周年でもパーティを開催致しましたが、誰よりも早く迎える50周年を記念する会を開催したいと考えています。

本企画は決起集会として、スタッフ募集・参加者募集方法を考えたり、候補会場のご紹介をしたり、パーティ内容のネタ出しを皆で話し合いたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

改めて知りたいドローンの話

石川潤一、稲葉義泰、岡部いさく

ここ最近、各方面で話題となることの多いドローンですが、ニュースなどを見ると誤解も多く見られます。特にウクライナでの民生ドローンの活用や、バイラクトルTB2といったUAVの活躍が一まとめにされ、ドローン万能論により戦闘機は時代遅れなどという極論も。ここで改めてドローンとは何か? ドローンの歴史と現在、ドローンが出来ることとできない事、将来はどこまで発展できるのか? ドローンというものに対して解説して行きたいと思います。

異世界の休日

蟬川夏哉

居酒屋のぶ、居酒屋げんなど、転生ではない異世界の物語を繰り出している作家「蟬川 夏哉」さんをお招きして、異世界というと剣と魔法のファンタジーというパターンではない作品の魅力や、文章や行間から読み取れない、あるいは、背景に隠れている発想や世界観、思いなど、色々なことをお話していただきます。間違い探しやあら捜しなどではなく、いろんなことをお聞きして楽しい時間を過ごそう!

今どきの海外TRPG事情

～古典作品の最新版からインディーゲームまで～

朱鷲田祐介、岡和田晃、待兼音二郎、中村俊也

SFとTRPGは双子のような関係にあり、相互に影響を与え合っています。特に海外において、その傾向は顕著です。そこで本企画ではSFにリスペクトを持ちながらTRPGの翻訳・創作の現場に関わってきたパネリストらが、自分の関わってきた作品に限らず、TRPGの歴史と現在を縦横無尽に語ります。本企画の前哨戦をTRPGフェスティバルオンライン2023春というイベントで行い、好評をいただきました。「昔TRPGで遊んでいたけど、最近のシーンはよくわからないなあ」なんて方や、「D&Dの映画やクトゥルフの動画は面白かったけど、他にどういったTRPGがあるか気になる」という方はもちろん、ビギナーからベテランまで、是非とも気軽にお越しください。

SF競技クイズ『君のクイズ』杯 予選会

岡田章宏

『『白い光の中にいた。下半身の感覚がなくて、宙に浮いているような気分だった』という書き出しで始まる、競技クイズを題材にした小川哲の小説は何でしょう？』

小川哲『君のクイズ』大ヒット記念！小川哲さん公認の『君のクイズ』杯は、早押しボタンを使った本格SF競技クイズです。SF知識に自身のある皆さま、早押しクイズで遊びましょう！

この企画は、SF大会の2日目に行われる『『君のクイズ』杯 本選』の出場者を決める予選会です。上位の方は、本選企画にご参加いただけます。この企画に参加できない方に向けて、本選出場をかけたペーパークイズも用意しています（詳しくはSF文学振興会のディーラーズブースへ）。

SF競技クイズ『君のクイズ』杯 本戦

大森望、徳久倫康、岡田章宏

「クイズ番組『Q-1 グランプリ』に出場した主人公が対戦相手の不可解な早押しの謎を紐解いていく、2023年に日本推理作家協会賞を受賞した小川哲の小説は何でしょう？」

小川哲『君のクイズ』大ヒット記念！SF知識なら負けないという皆さま、早押しクイズで勝負しませんか？クイズ界最強のクイズプレイヤー・徳久倫康さん、SF界を知り尽くした大森望さんのお二人と知識で勝負！

この企画に回答者としてご参加したい方は、1日目に行われる『『君のクイズ』杯 予選会』か、SF文学振興会のディーラーズブースで配布している『『君のクイズ』杯ペーパークイズ』にご参加ください。

SFたほいや

有名作品の書き出しをあらすじから想像で書いてみたら、コレが面白すぎた！名文・珍文入り乱れから本物を探す推理合戦、奇抜な一文で騙し騙されする心理戦、原作超えを目指す創作合戦、全てが詰まったゲーム「SF たほいや」を遊びましょう。

例えば、ヒューゴー賞受賞『第五の季節』でやってみたらこんな感じです。本物は1つ！どれかわかりますか??

- ・山の稜線を赤い涙のように溶岩が流れている。
- ・では、世界の終わりの話からはじめようか。
- ・季節の変わり目は美しいものだと思っていた。

本物が分かって分からなくても、ちょっとワクワクしませんか。物語始まりのワクワクにたくさん会いましょう。

SFデンポー II

人間六度、榛見あきる、もがきまさはる、猿場つかさ、他追加ゲスト交渉中

お題をより少ない文字数で伝えた人が勝ち、というルール of 市販ゲーム「デンポー」。これをSF縛りでやりたいなと思ったわけです。

さてどんな言葉が飛び出すでしょう？

考えてみてください。「ボーア」と書いた人がなんと二人出ました。でも「シュレディンガーの猫」などの誤答が出てしまったんですね。その次は「カサネアワセ」……うーん、わかりました？ 僕が書いたのは「エンタングルメント」。……どうです？ 正解は「量子論」！

理解の深さだけでなく、広さも問われる面白いゲームってわけです。

まずは企画人側でデモプレイを行い、その後企画人を軸に幾つかの卓を結成。みんなでワイワイやれたらいいな、と思ってます。

さあ繋げてみましょう！

相互理解を。

僕らのSFの原風景を。

SF天文同好会第十三回例会

「追悼 藤井旭さん」昨年、星になられた天体写真家・天文エッセイスト、そして多数の天文書の執筆で日本の天文普及に最大級の貢献をされた藤井旭さんを偲びます。

他にSF・アニメ・マンガ・ゲームの中で天体観測や、アイマス天文部・日本天文愛好者連絡会の活動の報告も。

SF入門書でSF再入門

池澤春菜、冬木糸一、牧眞司

八月のSFファン交流会は、第61回日本SF大会 Sci-con 2023に出張いたします。

SF大会の門をくぐるそのあなた、あなたがSFの世界に踏み込んでいく道標になった「入門書」はなんでしたか？ ファン交例会では、SFの入門書についてゲストの皆さまと語り合います。これまでどんな入門書があったのか、なにを入門書として愛用していたのか、そして自分が入門書を作る番になった際のよもや話まで。古今東西(?)の入門書片手にみんなで「SF再入門」してみましょう。

SFメイカー

柞刈湯葉、十三不塔、人間六度、藍銅ツバメ

昨年のF-CONにて大盛況となったSFメイカーが帰ってきた！

SFメイカーは、SFな名台詞や出来事が書かれたカードを引きながら、即興で小説をリレーしていく協力型ボードゲームです。ゲスト作家達によるココでしか見られない共作誕生の瞬間をお見逃しなく！もちろん、ゲスト作家達の見事な名作を見た後は、参加者達でゆるーく遊ぶ時間もありますよ。カードの中身をちょっとのぞくと、模造記憶、機械モグラ、ウラシマ効果、「1人いる!」、「こちら、ヒューストン」、...

あなたならどういう物語を創りますか。

SF者のための最新天文学2

半田利弘

昨年の大会でも好評だった、天文学者 半田利弘による最新宇宙天文学のよもやまばなし。今年のテーマは宇宙人探し関連。2022年にアニメ版がリメイクされた某漫画も登場するか!?

SF落語

立川わんだ

日本SF作家クラブにも所属している、SF好きな落語家・立川わんだによる、SF落語の公演です。

SF小説の落語化や自作の新作落語など、SF落語を二～三席演らせて頂きます。

岡部式飛行機SFアンソロジー

岡部いさく、富永浩史

ここ数年、様々なテーマのアンソロジーSF作品集が数多く出ておりますが、ハードウェア寄りでは宇宙船やロボット・パワードスーツといったものをテーマとしたものが出ており、一つのジャンルとなっております。しかし、飛行機の出てくるSFは数多くありますが、それは作中の道具であり飛行機そのものを主題としたSFというものはあまり意識されていないのでは?というわけで、岡部いさくさんによる海外の飛行機SF紹介を行います。

海外SF文学賞 中短編候補を語る

東京創元社編集部 石亀

今年のネビュラ賞など海外SF文学賞について、中短編候補作を中心に語ります。

帰ってきた **すごい科学で守ります！**

長谷川裕一、環望、笹本祐一、重馬敬

かええってきたぞ、かええってきたぞ、かええってきたーぞー

毎度おなじみ、長谷川裕一と愉快的仲間たちによる東映特撮 SF 考証です。

4 年ぶりです！帰ってまいりました！

『グレート合体愛蔵版 **すごい科学で守ります！**』が今年 2 月に出版されました！

長谷川裕一先生デビュー 40 周年記念！2 月 25 日発売、厚さ 53 ミリ BOX 入り A5 判 688 ページ重量 1.1kg、税込 5940 円です。(以上宣伝)

どこに転がっていくか全く分かりません！

ガンパレード・マーチに見るAIによる人物制御と世界観構築

ガンパレなどの中の人 芝村裕吏、ルナシリーズなどの中の人 重馬敬、がっこうぐらしなどの中の人 海法紀光

今年で 54 回を数える星雲賞の歴史の中で唯一ゲームとしてメディア部門を受賞した『高機動幻想ガンパレード・マーチ』

「無名世界観」という複数作品に連なる世界観設定に加え、登場人物の AI 制御の細やかさ・プレイヤーの自由度の広さなど、当時の他のゲームとは一線を画したこの作品。この企画では、開発スタッフだった芝村裕吏氏を迎え、シナリオライターの重馬敬氏とともに当時を振り返ります。また、6 月 1 日に発売となった「LOOP8」の話も聞けるかも？！

クトゥルー狂言『龍宮之使』ほか

浅尾典彦(夢人塔)、三好俊秀

昨年、世界で初めて発表された「もののけ狂言(類)シリーズ・第一弾」クトゥルー狂言『龍宮之使(りゅうぐうのつかい)』の舞台収録完全版(シネマ狂言)の特別上映と、VFX 日本昔ばなし映画『新釈 神鳴(かみなり)』を上映します。夢人塔・浅尾典彦のシナリオ、プロの狂言師による演出です。誰も見たことの無い不思議な幽玄の世界が展開されます。是非ご覧ください。

ゲームの歴史。ゲーム産業を記録に残すこと

小山友介、岩崎啓真、嶋原盛之

これまでゲーム産業は後ろを振り返る暇なく発展を続けてきた。ゲーム産業は他より歴史が浅く学術対象になりにくく、であるが故にまだ正しい記録が残っていない。

資料やオーラルは時が経つごとに失われてしまう。しかしまだ間に合う。いま、ゲームの歴史を振り返り、ゲーム産業史の記録と、正史を残すことの問題と意義について考えを深めたい。

考証ブラザーズ科学とSFトーク in Sci-con2023

考証ブラザーズ(堺三保、白土晴一)／ゲスト：菊池誠

「Live Wire」で毎月オンライン配信されている「考証ブラザーズ科学と SF トーク」でおなじみの考証ブラザーズが生出演！大阪大学教授の菊池誠さんをゲストに、今、気になる&知っておきたい科学や歴史や社会についてのトピックスを、SF 的な発想で思う存分語り合ってください。さて、今回はどんな話題が飛び出しますやら。

国外の土地を描くSF：台湾とチベット

河野咲子(作家・文筆家)

現在、SF に限らず様々なジャンルの小説が WEB メディアや翻訳出版を通じて言語や国の枠組みを超えて読まれることが増えてきた。そうした状況の中、自分が暮らす土地を見つめそれを国外の人々に伝える作品ではなく、あえて国外を舞台にした作品を描く意義も問われ始めている。SF で国外の土地を描くとはどういうことか・その意義は何かを、実際に台湾とチベットを舞台にして小説を書いた書き手 2 人と、旅の体験から批評を立ち上げるプロジェクトにかかわる批評家が語りあいながら検討していく。

コミックガタリー 特別版

大井 昌和、小浜 徹也、菅 浩江

福島大会に続き、「流浪のマンガ家大井昌和の COMIC gatalic (コミックガタリー)」が浦和にやってくる！

コミックガタリーは漫画家の大井昌和さんがマンガだけではなくアニメやゲーム、Netflix (ネットフリックス) など様々なサブカルチャー、もちろん漫画家としての作画方法や業界裏話などについて語る番組です。

今回は、ゲストに小浜徹也さん(評論家)、菅浩江さん(小説家)を迎え、盛沢山な内容で飽きさせません、聞いて損はさせません、みなさまのご来場お待ちしております。

CyberPunk2023

結城充考、大森望ほか

「サイバーパンクってなんだ?」そんな疑問に答えるべく、サイバーパンクの書き手に、あなたの思うサイバーパンクについてお聞きします。サイバーパンクといえば『ブレードランナー』のギラギラとしたネオンの風景が浮かびますが、今はどのようなイメージで描かれているのでしょうか?

今年5月に『アブソルート・コールド』を出版した結城充考さん、『楽園追放 rewired サイバーパンク SF 傑作選』編者の大森望さん(そのほか追加ゲストがあるかもしれません)と一緒に、サイバーパンクについて考えましょう。

サイバーパンクの部屋

巽孝之、小谷真理、菊池誠

今回は大会のテーマの一つである「ゲーム」とサイバーパンクの関わりを取り上げながら、様々なトピックをご紹介します。

オープンしたばかりの歌舞伎町タワーは、サイバーパンク世界そのままのようです。イベントやコスプレの分野でも最近サイバーパンクが新しい盛り上がりを見せています。そうしたサイバーパンク最前線にナビゲートします。

サイレントメビウス35周年記念

この35年に何があったのか!? 徹底検証!

麻宮騎亜、重馬敬、細川博司、園山隆輔

今年はサイレントメビウス生誕 35 周年にして、漫画本編の時間軸では AMP 創設の年。それを記念してサイレントメビウスに深い関わりを持つ方々や、サイレントに影響を受けたクリエイターの方々をお招きしてサイレントメビウス誕生から今に至るまでの全てを検証していきます。

作家のメンタル崩壊を食い止めよう!

草野原々、麦原遼、宮本道人

作家は病みます。どのように病んでいくかを分析し、崩壊しても再生できる方法を議論します。【作家のメンタル崩壊の事例を観察し、その諸要因を抽出することで、引き返し不能点への到達を回避するための対策を考える】作家のメンタルは常に崩壊しながら再生を続けるので、その動的平衡を分析とともに実験しましょう。飛び入りゲスト可。念のためもう一度繰り返します。作家は病みます。どのように病んでいくかを分析し、崩壊しても再生できる方法を議論します。【作家のメンタル崩壊の事例を観察し、その諸要因を抽出することで、引き返し不能点への到達を回避するための対策を考える】作家のメンタルは常に崩壊しながら再生を続けるので、その動的平衡を分析とともに実験しましょう。飛び入りゲスト可。

鹿野司さん追悼パネル

牧真司、出淵裕、堺三保、白土晴一

昨年10月17日に亡くなったサイエンスライター・鹿野司さんを偲びます。10代からファン活動をつづけられ、科学エッセイや映画・アニメのSF考証で活躍されました。学生時代から鹿野さんと親交があった牧さん、出淵さん、また「考証ブラザーズ」として最後までイベントをご一緒した堺さん、白土さんに語っていただきます。

時刊新聞

S F大会内の情報伝達、およびコミュニケーション媒体として、毎時1号(以上)新聞を発行し、配布する企画です。

第20回大会 DAICON III (1981年) にて「時刊ファンジン」の名称で発行し、翌年より「時刊新聞」として年次S F大会には毎回参加している企画です。大会当日に起こった事、大会・企画の感想、イラスト等、皆様からの投稿記事をお待ちしております。

黄色いTシャツ・ハッピが時刊新聞社員の目印となっております。

投稿用紙・筆記具は時刊新聞社ブースにてご用意致します。お気軽に時刊新聞社ブースまでお越しください。

社員募集中!! カンパ受け付けてます。

「小説家になった」二日市とふろうの場合

二日市とふろう

「小説家になろう」の現代乙女ゲー転生小説『現代社会で乙女ゲームの悪役令嬢をするのはちょっと大変』でブレイクした、小説家「二日市とふろう」氏への「webからデビュー」体験インタビューです。

『帝国の龍神様』『大友の姫巫女』『昨日宰相今日JK明日悪役令嬢』などなどを書いてきた「北部九州在住」さんが「二日市とふろう」になるまで、何を見て、何をしてきたのか。

歴史・時事問題・戦記にも造詣の深い、二日市とふろう先生のこれまでの歩みを、少しでも紐解いてみましょう。

鈴木雅久／吉岡平 追悼の時間

笹本祐一、飯田孝

『ARIEL』『日帰りクエスト』等の数多くの作品で、小説に「映像感」を加えてくれ続けた鈴木雅久さん。

『宇宙一の無責任男シリーズ』をはじめ、一時は「月刊吉岡」と異名をとるほど作品を量産した吉岡平さん。

お二人とも「ライトノベル」を語る上で無くてはならない方たちです。

鈴木雅久さんを戦友として駆け抜けてきた笹本祐一さんと、その笹本さんを吉岡平さんに引き合わせた元白泉社「楽園」の飯田孝さんに、お二人の思い出話を語っていただきます。

すちーむばんく研究会

SF 作品をルーツとしながら様々なジャンルで展開されるスチームパンクカルチャーと、その楽しみ方をご紹介します!

素晴らしきパニック映画の世界

東京ニトロ、久永実木彦

日本SF大会、大パニック!? 久永実木彦&東京ニトロのパニックきょうだいが、パニック映画について語ります。泣き叫ぶ人々、灰燼に帰す都市、崩壊する社会……われわれはなぜパニック映画に惹きつけられるのか!? 果たしてパニック映画の向こう側に待ち受けるものとは!? ……などとむずかしいことは考えず、ゆるくおしゃべりできたらと思います。

セガをかたる

大高寛之、アサウラ

セガについて、いろいろ話します

専門家と観る機動戦士ガンダム

岩井浩之、伊藤篤史、笠田 竜太、福田 努

合金やプラズマ、核融合などの専門家から観た『機動戦士ガンダム』は、どのくらい「本当にリアル」で、興味深いのか、皆さんと一緒に見ていきましょう。「ガンダリウム合金はF91からガンダリウム合金セラミック複合材に進化しています。金属とセラミックスを上手く組み合わせて新たな複合材料を作るのは現実の材料開発の歴史とも一致します」「劇中では組織によってビーム・サーベルの色が違いますが、不純物由来の色かもしれませんね。ジオン公国軍やティターンズの黄色い発色は、現代ならプラズマ中のナトリウム不純物とか？」など、専門家だからこそ注目したマニアックな話題が盛りだくさんな内容です。

創元SF短編賞出身作家サイコロトーク

空木春宵、笹原千波、久永実木彦、松樹凜、溝渕久美子

創元 SF 短編賞出身作家が、サイコロの出目に応じて、創作や自分を作ってきた好きなもの、プライベートについてさまざまに語ります。創元 SF 短編賞出身者の飛び入り参加大歓迎です！

続・少女冒険活劇の系譜

～『あらしの白ばと』から『リコリス・リコイル』まで～

芦辺拓

この夏、西條八十の伝説的少女冒険探偵小説『あらしの白ばと』が河出書房新社から復刊された。三人の少女が銃を振り回し、同性を虐げる悪党たちをやっつける物語は、明らかに時代を突き抜けていた。一方、アニメの世界では、ディストピア的近未来を生きる少女スパイたちの物語『リコリス・リコイル』が大人気となったのは記憶に新しい。かつてヒーローの座を占めていた男たちは、すっかり女の子にお株を奪われた形だが、自らの意志で行動し、戦う少女たちの物語は、意外なほど長くしたたかな歴史を持つ。本企画は彼女らの系譜をたどり、その勇ましくも可憐な姿を再現させつつ、少女冒険活劇のたまらない魅力について再び語ろうとするものである。

続) プロジェクト・ヘイル・メアリーを語る部屋

『火星の人』のマーク・ワトニーと『プロジェクト・ヘイル・メアリー』のライランド・グレース、「火星に取り残されたヒーロー」と「異星に放り出された学校の先生」の2人に共通するものとは？周囲の反応とあの事件の後で世界がどのように変わるのか、書かれてないところは妄想で継ぎ足しながら考察していく。なんなら『アルテミス』についても語ってもいいぞ！という感じにアンディ・ウィアー作品を総合的に語る！（君も語ろう！）

第32回暗黒星雲賞

SF 大会参加者であれば SF 大会に関係しているヒト、モノ、コトにどんな理由でも投票でき、誰でも何でも受賞できてしまう、それが暗黒星雲賞。

星雲賞のパロディとして始まり、いつの間にやら 30 年オーバー。

会場内のどこかにある投票箱を見つけたら、専用の投票用紙を使ってどんどん投票しよう！

投票運動も組織票も制限なし、投票の基準はあなた次第です。

投票できる部門は

- ・企画
- ・ゲスト
- ・コスチューム
- ・自由

の4つ。各部門に1票ずつ投票できます。

さらに全投票者の中から最も幸運な方が幸運部門を受賞します。

優秀なものから駄目なもの、天気やハプニングなど過去ありとあらゆるものが受賞してきました。

受賞するのはあなたかも？

大陸規模の大望遠鏡計画SKAって何？

高橋慶太郎、赤堀卓也、半田利弘

昨年の大会に引き続き、世界15カ国以上の国々が共同で電波望遠鏡を建設するSKA計画のご紹介をさせていただきます。

「ステージショー：戦え！ローカルヒーロー ～この作品はフィクションです～」

石井龍太

ローカルヒーローの現代的課題を、ステージショーによって描き出す企画である。「ローカルヒーロー」「ご当地ヒーロー」等と呼ばれる地域キャラクターコンテンツは、概ね1980年代に萌芽し、現在全国で250を超える団体が活動している。市民サークル、企業、大学等、活動母胎は様々であり、営利か非営利か、福祉活動か地域ビジネスか等、その目的や活動形態もかなり多様化している。本企画では「ローカルヒーローのリアル」をテーマに、この興味深いキャラクターコンテンツが抱える課題と戦っている様を、ヒーローショーに仕立ててお伝えしたい。少なくともローカルヒーローというコンテンツを語るには、偉そうな背広が講演するよりもこの方が適切な手法であろう。

中国史SFの魅力

梁清散、十三不塔、溝渕久美子

中国史SFの魅力について、中国SF作家の梁清散氏をゲストに迎え、SF作家の十三不塔氏・溝渕久美子氏とともに語り合います！中国SFや歴史SF好きの方々、ぜひご参加ください！

津原泰水さん追悼パネル

大森望、北原尚彦、塩澤快浩、古市怜子

昨年10月20日に亡くなった作家・津原泰水さんを偲びます。SFの代表作として長編『バレー・メカニック』、短編「五色の舟」などがあります。日本SF大会や地方大会にも何度となく参加されました。書評家／アンソロジー編集者として親交のあった大森さん、大学生時代からのご友人だった北原さん、また早川書房、東京創元社でそれぞれ担当編集者だった塩澤さん、古市さんに語っていただきます。

TVファンタスティック

おなじみ「海外SFテレビドラマ」の研究企画です。今回は「STARLOGの時代」として雑誌「STARLOG」がSF界に与えた影響であったり、年代別の流行などを取り上げたいと思っています。

寺蘭淳也の宇宙開発あれこれ

寺蘭淳也

寺蘭淳也さんが去年出した宇宙開発関係の本をベースとして色々お話しします。今年の星雲賞の参考候補作に上がった「2025年、人類が再び月に降り立つ日」が中心になるかと思いますので、

皆さん宜しくお願ひします。

なんと！長谷川裕一漫画家デビュー40周年！

長谷川裕一、環望、重馬敬、五十嵐浩司

今年漫画家デビュー40周年を迎える長谷川裕一先生の、「これまでの歩み」をたどります。

1983年のデビューから『マップス』『クロノアイズ』『機動戦士クロスボーン・ガンダム』『すごい科学で守ります！』などを代表に、描き続けてきた長谷川さん。

その40年間を、アニメーション研究家の五十嵐浩司さんをインタビュアーに、紐解いていきます。

日経「星新一賞」の部屋

揚羽はな、菊池誠、関元聡、安野貴博、津久井五月、松樹凜、葦沢かもめ

日経「星新一賞」は国内最大の応募数を集めるSF小説賞です。2013年に始まり今年2月に第10回の結果が発表されました。

本企画は受賞作家の皆様をお招きしてクリエイターとファンをつなぐ、SF大会ならではのお話をうかがいます。受賞の思い出や裏話(?)、第11回の応募を目指す作家予備軍の皆様への創作アドバイスもいただきます！

ホシヅルトロフィーの実物も見せていただけるかも！？

日本SF図書館員協会第19回総会

図書館とSFをまったり語り合う日本SF図書館員協会、2019年以来の総会です。今回のテーマはいいこと探し！あなたの図書館（勤め先でも利用者としてでも、なんなら自宅にあるでも）この4年間、色々ありましたが「良い話」（主観）を語りあって一息つきましょう。図書館関係者と図書館愛好者の参加をお待ちしています。

【館種不問・全員参加・実況禁止・録音録画禁止・秘密厳守】

ぬいぐるみ参加者の部屋

ぬいぐるみとそのお仲間みなさま。SF系のイベントに恒例の、いろいろなぬいぐるみ類が集まってくる場所になる予定です。いつもどおりの、のんびり空間にしたいと思っています。

ぬいぐるみを同伴しなくても参加できますし、途中入退場もご自由に。お気軽にお立ち寄りください。

ネット架空戦記の部屋

二日市とふろう、富永浩史

歴史・戦記に「もし (if)」を加えた思考実験である架空戦記。

商業出版では10年ほど前からレーベルとしては下火になりつつありますが、なんのなんの。

商業に縛られない、web小説では結構今も流行っております。

その辺りを小説家・二日市とふろうさんに解説してもらいましょう。

※当日はweb上に公開したレジュメを使用します。手元でweb閲覧可能なデバイスがあるとより楽しめます。

『反重力装置』のようなもの

特許庁が認めない、『反重力装置』のようなものを展示します。

ヒーローあるところ着ぐるみショー有り！

長谷川裕一、長谷川勝己、バーチしょうぐん、環望

これはまだアトラクションショーが「着ぐるみショー」と呼ばれていた頃のお話・・・実際にショーの経験者である、脚本家長谷川勝己をゲストに迎え、デパートの屋上や遊園地で、きっとあなたも一度は見たことのある、あのヒーローやあのヒロインの、着ぐるみショーの裏側や面白エピソードを聞き出してみますよ！

ボードゲーム部屋

参加者が自由に遊べるボードゲーム部屋を開きます、なんと大会期間中ほぼずーっと！

初心者もボドゲ好きも気軽に遊べるゲームを揃えてお待ちしております。ゆるーく楽しく遊びましょうね♪もちろん、ご自身のボードゲーム持込可（ただし自己管理にはご注意ください）

「次のコマどうしようかな」「疲れたから少しのんびりしよ〜」なんて時にぜひどうぞ！

なお、本企画はSF文学振興会主催で説明・試遊もやっています、気軽にお声掛けください。（こそっと宣伝：同団体の遊んだ記録やSFクイズ予選ペーパー配布もあるよ）

星新一展示

F-CONに引き続き、Sci-con2023でも星新一先生に関する展示を行ないます。昨年の内容の他、東京新聞日曜版や週刊現代の記事、ご家族の写真などが加わりました。

また、昨年に引き続き「星一プロジェクト」冊子コピーを配布しております。

ミニミニ コンパックInさいたま2023

みなさんご無沙汰しております。現在は時空の彼方に拠点を移した牛丼仮面でございます。

2019年、大宮の割烹旅館「東山」様で開催して以来、長らく休暇をとらせていただいたコンパックですが、宿泊と宴会が大好きな参加者様のご要望にお応えし、小規模ではありますが、開催の運びとなりました。

みんなでSFな曲を踊ろう！

お待たせしました！「みんなでSFな曲を踊ろう！」が四年ぶりに帰ってきました！！

今年は大会テーマのゲームでもやってみようか、それとも巨匠の追悼にしようか、悩むところではあります。

とりあえず、一緒に踊りましょう！

みんなで昆虫食を食べよう～シュ永デ琳宮国の住民になりきって～

夜田わけい、みっちー、樋口素子

「蟲医シリーズ」の世界観に合わせて、SFシュ永デ琳宮国の住民になりきって、みんなで昆虫食を食べよう！（アレルギーをお持ちの方、苦手な方は食べないで聞くだけでも大丈夫です）

『MOONLIGHT MILE』連載再開を祝う部屋

太田垣康男、堺三保、小林治

10年ぶりに復活した『MOONLIGHT MILE』について作者の太田垣康男さんと語る部屋。

復活の経緯や今後の執筆についてだけでなく、『MOONLIGHT MILE』のベースになっている宇宙開発などについても伺います。ゲストは、脚本家であり『オービタル・クリスマス』監督でもある堺三保さん。『MAKE MY DAY』『ヤキトリ』とNetflixで配信されているアニメが話題になっているお2人だけに、どんな話が出るのかお楽しみに。

UFOとオカルトとSFと

寺菌淳也、星野勝之、中根ユウサク

F-CONにて好評を博したUFO企画、寺菌さんは科学側面、中根さんはオカルト資料的立場、星野さんはビジュアル的側面からと、3者それぞれの切り口でUFOを捉えており思った以上に話が広がりました。

今回もUFOについて色々な話題で話して行きます。どんな話が飛び出すか乞うご期待！！

『指輪物語』と『シルマリルの物語』の変更について2

昨年に実施した『指輪物語』と『シルマリルの物語』の変更のあれこれの続きです。今回は最新版の変更メインでしたが、初版からの流れについて説明しようと思います。

私はSFプロトタイピングでボロ儲けした資本主義の豚です。 短編を200万で売る方法を公開します。

宮本道人、草野原々

ぶひぶひぶひ！ お金が欲しいヨォ！ SFを金儲けの道具にします！ 宮本道人は小金持ちです。そのお金はどうやって手に入れたのでしょうか？ 年収100万円の草野原々が聞き出します。果たして草野原々は金持ちになれるのでしょうか？

飛び入りゲスト可。どっちが卑しい金持ちかを自慢しあいましょう！

年収200万円以上の方は宮本道人を倒して講師になり、草野原々に2万円くらい渡し下さい。